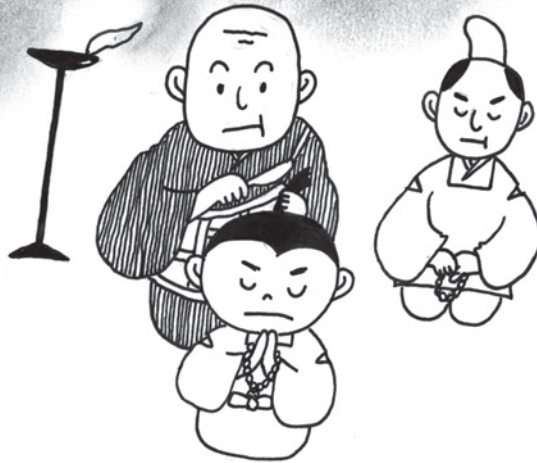


なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



松若丸さまってだあれ？

皆さんが良く知っている親鸞さまの子どもの時のお名前を、^{まつわかまる}松若丸と言うのです。親鸞さまは今から850年ほど昔に、京都の日野というところでお生まれになりました。親鸞さまがお生まれになってしばらくして、お父さまは争いに巻き込まれて家を出られ、お母さまも病気で死んでしまわれたのです。

一人になった親鸞さまは、^{のりつな}伯父の日野範綱さまに引き取られて、小さい頃から学問や歌の勉強を頑張っていたらしいです。周りの人たちから「松若丸さま」「若さま」と呼ばれてみんなに愛されていました。

松若丸さまが7、8歳のころ、地震や大風のためにお米や野菜が育たず、食べ物が手に入らずに、たくさんの方が死んでしまうことがありました。町のあちこちで食べ物を探す人々の姿を見て、松若丸さまはなんとかみんなが幸せに暮らせる方法はないかと考えられ、お坊さまになって勉強したら良いと気づかれました。

桜が満開の春の日、松若丸さまは^{しょうれんいん}青蓮院の^{じえん}慈円という、えらいお坊さまのお世話になって、お坊さまの勉強を始められました。慈円さまは松若丸さまに^{はんねん}範宴という新しい名前を付けてくださいました。